

中高一貫教育だより②

交流授業

周防大島高校と大島中学校・周防大島中学校では、2学期末まで原則として毎週、高校の教員が中学校を訪問し、授業や授業見学を行っています。例えば周防大島中学校では、高校の国語科教員が初歩の漢文を教えたり、高校の英語科教員が英単語の読み方の基本を教えたりするのを中学校教員が参観しました。また大島中学校では、中学校の理科の授業を高校の教員が参観し、ICT機器の効果的な使い方を学びました。

こうした交流を通じて、中高生それぞれが学力を高められるよう、教員の資質向上に努めています。



▲高校の教頭が中学校で授業を行っている様子

中高一貫カウンセリング

5月12日と31日、周防大島高校を会場に「中高一貫カウンセリング」を実施しました。周防大島中学校と大島中学校出身の一年生を対象に、各中学校の教員が高校に進学してからの悩みなどを聞き、相談に乗りました。

カウンセリング後の生徒からは「今年の今頃の気

持ちを思い出すことができた」「勉強や友達との関わりについて聞いてもらい、スッキリした」「先生のダジャレが進化していた」等の感想がありました。懐かしくも充実した時間を過ごした生徒たちは、得たものを今後の高校生活に生かしてくれることと思います。

“届けよう、服のチカラ” プロジェクト

周防大島高校では7年前から、国連難民高等弁務官事務局（UNHCR）と㈱ファーストリテイリング（ユニクロ・ジーユー）とのパートナーシップのもと、不要になった子ども服を回収し世界中の難民の子どもたちに送る活動に取り組んでいます。

今年度は6月27日にユニクロの方による出張授業を受け、難民を支援するこの取組への意欲を高めたようでした。

世界には困難に直面している人たちがいます。地域の皆さま方には、今年もご協力をお願いします。

- 回収期間 7月1日～10月末まで
- 回収対象 子ども服のみ（赤ちゃん用～160cm）
※大人用の服は対象外です

■お願い事項（厳守事項）

- (1)洗濯したものをお持ちください
- (2)下着・靴下・小物は回収不可
- (3)迷彩・武器・ドクロ・血液の柄は回収不可
- (4)周防大島高校に直接お届けください（窓口：重村）

問い合わせ 周防大島高校
☎ 0820-77-1048

Thanks Suo-oshima

この夏、5年間に及ぶALT（外国語指導助手）としての仕事は終わりを迎えました。2018年、私は社会人としての経験もほとんどなく、たどたどしい日本語しか話せない状態で日本に来ました。しかし、訪問した学校で多くの人々と交流することで、たくさんのことを学びました。そして、子供たちや教育関係者だけでなく保護者や地域の皆さん等たくさんの方々とのすばらしい出会いがありました。周防大島には、地球上で最も愛すべき人々が住んでいると、私は心から信じています。

周防大島は、私の人生を変えました。必ずまた戻ってきます。この島は、私にとって永遠の故郷です。ありがとうございました。



Afzal Abraham (アフザル アブラハム)